

平成27年度 第2回豊後大野市地域公共交通会議
豊後大野市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時：平成28年1月15日（金）15：00～
場所：豊後大野市役所4F 正庁ホール



1. 開会

事務局：皆さまお忙しい中、本日の会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。只今より、平成27年度 「第2回豊後大野市地域公共交通会議」及び「第2回豊後大野市地域公共交通活性化協議会」をはじめさせていただきます。

さて、本日の会議ですが、「第2回目の地域公共交通会議」と「第2回目の地域公共交通活性化協議会」とを同時開催としております。公共交通会議は『道路運送法』に基づく会議で運賃やダイヤ改正などを議論する会議です。

地域公共交通活性化協議会については、『地域公共交通の活性化及び再生に関する法律』に基づく法定協議会で、豊後大野市が定めています「地域公共交通総合連携計画」に基づく事業を実施していることから、当協議会を開催しております。

議論する内容が似ておりますので、当市では毎回同時開催といたしております。どうぞ主旨を御理解いただきますようお願いいたします。

なお、本日は急遽、市議会全員協議会が開催されていることから、本会の会長であります副市長のほうが出席できていません。終了後、こちらに参加するようになっております。御了承下さい。

2. 会長挨拶

副会長：豊後大野市自治会連合会会長の神志那です。

会長に代わりまして、一言開会のご挨拶を申し上げます。

本日は、ご多忙のところ、本協議会にご出席いただきありがとうございます。

昨年の本会議にてご承認いただきました件につきまして、その後、10月1日より朝地地区にて新規路線が運行を開始いたしました。高齢化が進む中、公共交通が果たす役割は今後ますます、大きくなっていくことと思います。よりよい公共交通のあり方を本協議会で活発に議論できればと考えております。

また、利用促進に向けて、同じく昨年10月には「大人の社会見学」事業として、大分大学経済学部経営システム学科大井ゼミの学生さんと本市唯一の高校でもあります三重総合高校の生徒さんと協働で取組みを進めました。このあと、皆さんの前で成果発表をしていただくようになっております。よろしくお願いいたします。

最後になりますが、本会が実りある場となりますようお集まりの皆さまに御協力願いますとともに、豊後大野市の公共交通政策への御助言ご協力を賜りますようお願いいたしまして、開会のご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

事務局：それでは次第の3に移ります。昨年11月20日に実施いたしました大人の社会見学の発表を大井ゼミの学生にお願いしたいと思います。また、本日は一緒に実験を行いました三重総合高校の生徒さん達も同席しております。

3. 大分大学経済学部経営システム学科大井ゼミ3年生による発表

演題：「コミュニティバスの潜在需要顕在化の取組みについて

—地域と連携した社会実験を通じて—

大井ゼミ学生：発表（省略）



事務局：ありがとうございました。それではただいまの発表について質問や感想があれば一言お願いいたします。では、三重高校の生徒さんから補足をお願いします。

高校生：私たちが提案した高校生バスガイド計画では、私たちがバスに乗り込み、乗り方、運賃の支払い方法、シートベルトの着用方法などについてお手伝いをさせていただくことを計画しました。

事務局：それでは学生や高校生の皆さんありがとうございました。

副会長：それでは引き続き進めていきたいと思います。報告事項について事務局説明をお願いいたします。

4. 報告事項

①コミュニティバス、あいのりタクシーの運行状況等について

②平成27年度 地域協働推進事業について

事務局：資料説明（省略）

副会長：それでは説明が終わりましたので質問がある方は挙手の上発言をお願いいたします。

大井委員：質問というわけではございませんが、大人の社会見学の御礼をさせていただければと思います。たくさんのメディアにも取りあげられ、注目を浴びることができ、一定の成果が上げられたのではないかと思います。準備の段階では実施できるか不安もあったのですが、皆様のご協力により無事開催することが出来ました。また、来年度は私どものゼミに豊後大野市出身の学生が2名加わることになりましたので、次年度も継続して行えればと思っております。宜しくをお願いいたします。

③公共交通モニタリング調査について

事務局：資料説明（省略）

副会長：ただいまの説明について、質問はありますか。

木下委員：朝地地区の昨年の社会実験について、参加者は大変喜んでおられました。このような企画があれば、外出する人が増えると思います。大学生や高校生が買い物支援を行うなど、普段出来ないことを体験することはとても楽しいですので、またこういったイベントを実施していただければ、と思います。現在は車やお子さんの送迎などで移動されている方にも、例えば地域のサロンにおいてコミュニティバスを利用してもらうように呼び掛けするなど中長期的に見ていきたいと思います。

事務局：先ほど大井先生からもお話がありましたが、この社会実験事業については、継続的に行っていきたいと思っております。

副会長：三重総合も来年以降、継続して協力いただけるのでしょうか。

事務局：昨年初めて協力いただきましたが、今後も持続可能な取組にしていく必要があ

るとのことから、最終的には大分大学、三重総合高校、豊後大野市の3者が協定を結ぶことにいたしました。それにより交通だけでなく、いろいろな分野で協力体制が整いましたので、今後も一過性なイベントに終わらせず、引き続き開催していきたいと思います。

副会長：そのほかございませんか。それでは議題に移りたいと思います。

5. 議題

①議案1 豊後大野市生活交通確保維持改善計画（案）について

事務局：資料説明（省略）

副会長：平成27年7月に承認いただき、運用しているのですが、修正があったため、再度承認をいただきたく、審議をお願いいたします。本件について御意見等ございますか。特にないようですから、承認していただいたものとして、次の議案に移ります。

②議案2 コミュニティバス優良乗務員及びバス停コンテスト表彰について

事務局：資料説明（省略）

副会長：今回社会実験に参加の協力をいただいた地区の住民の方に感謝状をお渡しするなどあればと思いますが、いかがでしょうか。

事務局：今後表彰規定に照らし合わせ、何か出来ることがあれば来年度から考えていきたいと思います。

副会長：それでは今回優良乗務員4名、表彰バス停3つ、特別表彰バス停2つについて決定させていただきたいと思います。これですべての議題は終わりましたので、その他について事務局説明をお願いいたします。

6. その他

事務局：それでは3点ほどご案内させていただきます。先ほどの優良乗務員とバス停コンテストの表彰ですが、次回2月29日（木）15：00～のこの会議と一緒に開催したいと思います。二点目ですが、三重総合高校の進学支援として、「三重総合高校の明日を拓く会」というものを設立しましたが、市内中学生の地元高校への進学が少なくなっています。そこで、市内の中学生が三重高校に通いやすくするため、大野町や朝地町からの通学支援を行うための運行の見直しを協議検討中です。本件については今後もこの場でお話しさせていただきます。三点目ですが、謝金の支払いのためのマイナンバーの個人番号の提供をお願いいたします。該当される方については市長名で文書をお渡ししておりますので、次回の会議までに届出書の提出をお願いいたします。

副会長：「三重高校の明日を拓く会」は27団体が進学に向けての説明会であったり、2

泊3日の補習合宿を行うことに対し、150万円の補正を市が組むなどの取組を行っております。今回も朝地から三重までの路線を新たに検討していくなど提案しているところです。全体的に高校を支援する覚悟を持って進めていきたいと思っております。

先ほど皆さんにその他の意見を出していただきたいと言いましたが、全体を通じて何かございましたらお願いいたします。

藤戸委員：市民から私に届いている声を3点お伝えいたしますが、犬飼町からの声ですが、路線バスが人の流れと一致していないと聞いております。当初計画されたときには良かったのですが、今一度モニタリングをお願いいたします。二つ目はスクールバスとコミュニティバスが連携していないので検討をお願いします。三つ目は私の家の裏に犬飼のバス停があるのですが、JRとの連携が取れていません。次期計画の見直しでは是非そのあたりを検討いただければと思います。

事務局：毎年モニタリングは実施しております。また、見直しも定期的に行っているため、要望がございましたら自治会長を通じてお話しをいただければ検討したいと思います。スクールバスの混乗については、犬飼では分乗して運行しております。混乗については来年度に向けて検討を進めているところです。

副会長：他にございますか。ないようでしたら進行を事務局にお返しいたします。

事務局：それでは少し時間もありますから、昨年「大人の社会見学」等の豊後大野市の取組みについて、NHKの放送を皆さんにご覧いただければと思います。

7. 閉会

副市長：本日急遽議会の全体協議会があり出席できませんでした。今年もみなさんのご協力の下、地域公共交通の活性化に取り組んでいきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

事務局：以上を持ちまして、会議を終わりたいと思っております。ありがとうございました。

平成 27 年度第 2 回「豊後大野市地域公共交通会議」
「豊後大野市地域公共交通活性化協議会」
委員出欠名簿

(以下敬称略、順不同)

	氏 名	所 属 等	出欠
委 員	赤嶺 謙二	行政機関（市） 豊後大野市副市長	○
委 員	神志那 正	住民代表 豊後大野市自治会連合会長	○
委 員	木下 孝行	豊後大野市コミュニティバス関係者 豊後大野市コミュニティバス運営協議会長	○
委 員	芦刈 憲司	地元経済団体 豊後大野市商工会長	欠
委 員	今仁 淳一	行政機関（県） 大分県豊肥振興局地域振興部長	○
委 員	亀井 敏和	行政機関（県） 大分県豊後大野土木事務所長	代理
委 員	堤 政樹	行政機関（警察） 大分県豊後大野警察署交通課長	欠
委 員	児玉 吉充	鉄道事業者 JR九州(株)大分支社 総務企画課運輸担当課長	○
委 員	脇 紀昭	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県バス協会専務理事	欠
委 員	漢 二美	一般旅客自動車運送事業者(組織する団体) (一社)大分県タクシー協会会長	代理
委 員	高寄 和弘	一般旅客自動車運送事業者 大野竹田バス(株)代表取締役	○
委 員	神品 雄一	一般旅客自動車運送事業者 豊後大野市タクシー協会会長	代理
委 員	大島 幸生	運転手が組織する団体 大野竹田バス乗務員代表	○
委 員	渡海 一成	運転手が組織する団体 豊後大野市タクシー協会乗務員代表	○
委 員	大井 尚司	学識経験者 大分大学経済学部経営システム科准教授	○
委 員	下郡 譲治	九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官(企画調整担当)	○
委 員	久世 和彦	九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送・監査担当)	欠
委 員	足立 哲啓	行政機関（市）公共交通担当 豊後大野市まちづくり推進課長	欠
委 員	加藤 郁	行政機関（市）福祉有償運送担当 豊後大野市社会福祉課長	代理
委 員	後藤 和吉	行政機関（市）高齢者福祉担当 豊後大野市高齢者福祉課長	代理
委 員	羽田野房徳	行政機関（市）市道管理者 豊後大野市建設課長	代理
委 員	真部 直廣	行政機関（市）スクールバス担当 豊後大野市教育委員会教育総務課長	代理